

【2023年度】放課後等デイサービス事業所における自己評価

公表：2024年3月11日 職員数5名で会議

事業所名 放課後クラブ ルンバルンバ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	0	活動に合わせて設備を整えている。	各グループで場所に分かれていく
	2	職員の配置数は適切である	3	2	各自職員役割を決めている	送迎の時間が重なってしまうと難しい部分もある。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	5	0	玄関・トイレ等において設置している	破損部分などないか確認。掃除を日々行う
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	0	毎日ミーティングを実施している。	PDCAサイクルの基礎なども研修を通して学びを深めていく
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	0	年度末に1回実施している	なるべく参加者へのご協力を促していきたい。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	0	3月末にHPへ記載している	3月末へ公開
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	0	学校関係者からの見学を受け付けている	今後は行っていく方針である
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	0	外部講師とのオンラインも取り入れ定期的実施している	オンラインを通し外部との研修機会を多く設けていきたい
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5	0	家庭面談を通して管理者中心に進めている	継続
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	0	契約時に実施。また3年ごとに更新している	法改正に向けて準備をしている
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	0	実施できている	チーム全体で決めていく
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	0	実施努力をしている	行事等の機会を増やしていきたい
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5	0	活動計画案を作成している	個別に課題を設定し評価を行っている
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5	0	管理者が中心となり計画・実施している	5領域に沿った指針を設け実施していく
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	0	必ず打ち合わせを行っている	継続

	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	0	毎日のミーティングを実施している	継続
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	0	支援記録として日々記録している	法改正に伴う様式等の変更有
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5	0	保護者との面談を実施している	継続
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っている	5	0	実施している	継続
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	0	管理者中心で進めている	現場の時間と調整
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5	0	管理者中心で進めている	メールのみならず送迎時などで必ず確認をミス減らす
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0	5	医療体制ではない	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5	0	管理者中心となり実施	現場の時間と要相談
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	5	0	管理者中心となり実施	他事業所間との共有の場を設ける
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	0	管理者中心となり実施	他事業所間との共有の場を設ける
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	5	感染症リスクなどから実施できていない	今後は積極的に取り入れていく方向である
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	0	5	参加できていない	現場の時間と重なることが多い。調整する
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	0	面談を通して理解を深めている	学校・他事業所とも連携を十分に図っていききたい
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	5	0	面談を通して理解を深めている	管理者中心となって進めていく
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	0	利用開始契約の際に説明をしている	契約のみならず面談時を通し伝える。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	0	面談を通して理解を深めている	窓口を設置し周知をしていく
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	5	感染症リスクなどから実施できていない	保護者との要望に合わながら対応していききたい

保護者への説明責任等	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5	0	窓口を設置している。	小さなことから相談していただけるように面談等を通し保護者への協力をお願いしていく
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	0	ルンバ通信として毎月発行している。活動の様子等をHPに載せている	今後は電子(PDF)などを活用していく
	35	個人情報に十分注意している	5	0	保護者への許可をしっかりと取り十分に注意している	契約のみならず評価・面談の際に改めて通達を行う
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	0	絵カードなどの教材等を用いて配慮している	視覚化しより明確にを心がける
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	5	0	行事等を通し行ってはいる	今後はより地域間での活動の中で調整していきたい。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5	0	HP・契約時に説明している	BCPを公開
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	0	月に1度研修・訓練を実施している。	毎月ごとねらいをもって訓練を行う
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	0	契約時に説明をしている。(重要事項説明書にて記載)	研修は年間で計画。管理者中心となり職員全体で行う
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5	0	契約時に説明をしている。(重要事項説明書にて記載)	契約時や面談時に必ず伝えていく
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	0	契約時に説明をしている。	日々更新している
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	0	記録として残し共有されている。	日々共有する	